马片倉庫

組立説明書

SOBU-3057型 (L)·(M)·(H)·(FH)



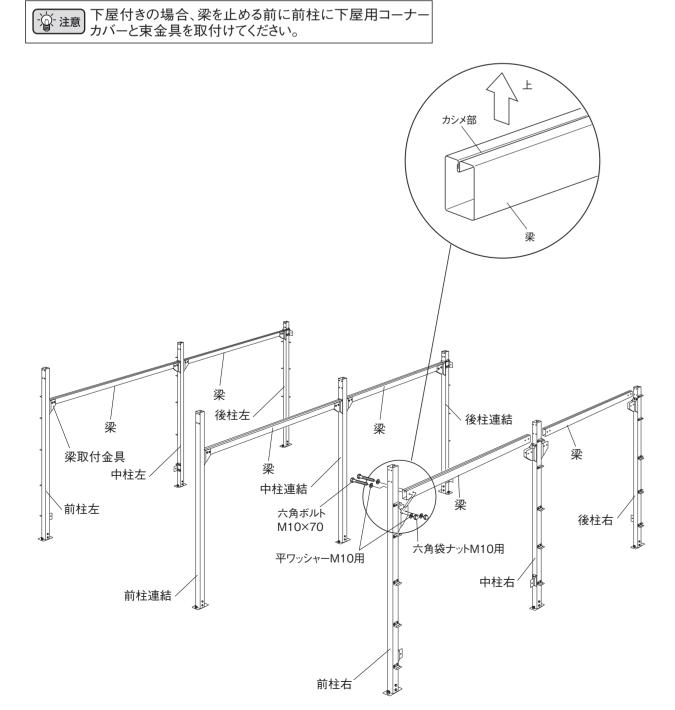
※本説明書はSOBU-3057Mの2連棟を基に説明しております。

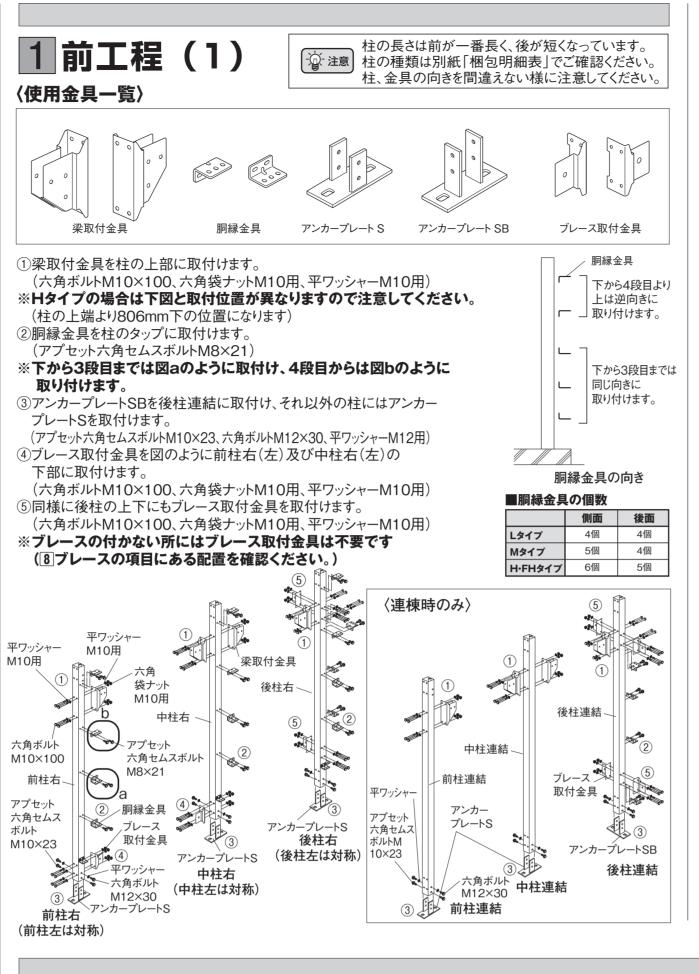
※組立説明書Ⅲ・2の順で組立てください。

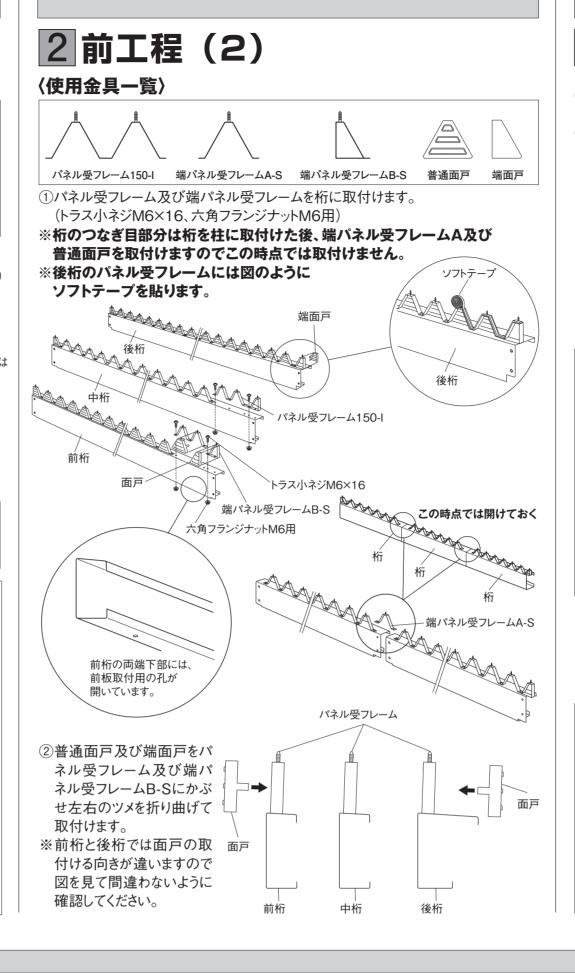
4 梁

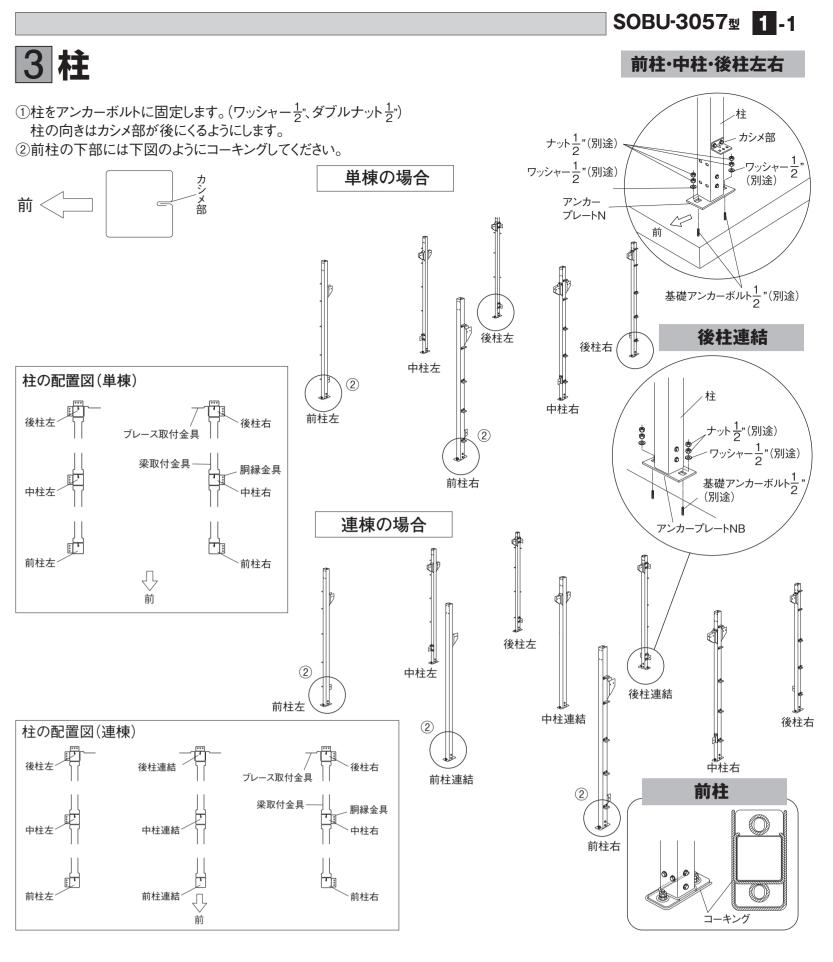
①各柱に取付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。 (六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

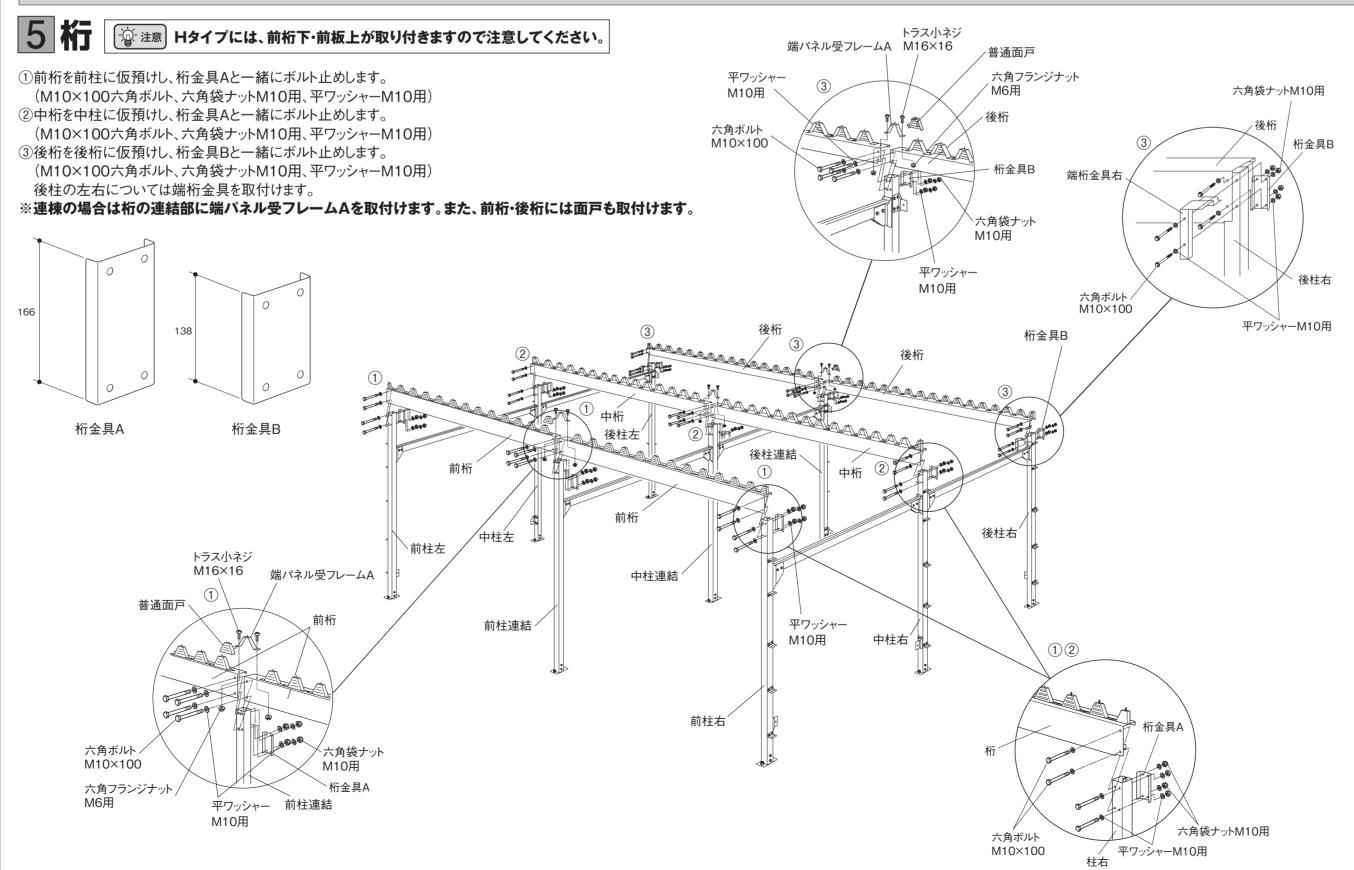
※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。

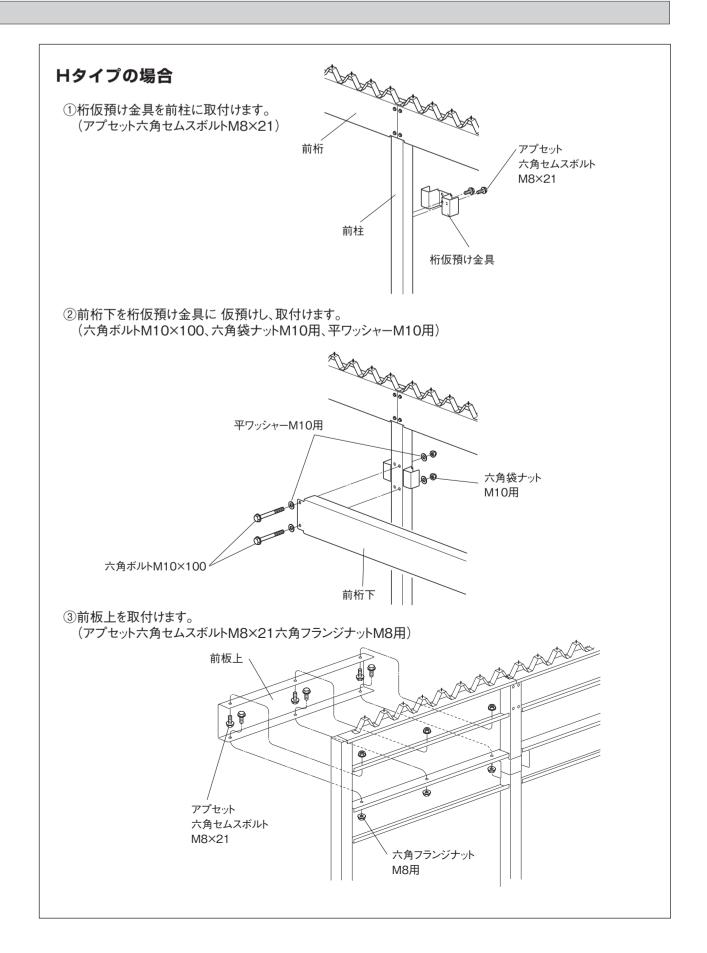








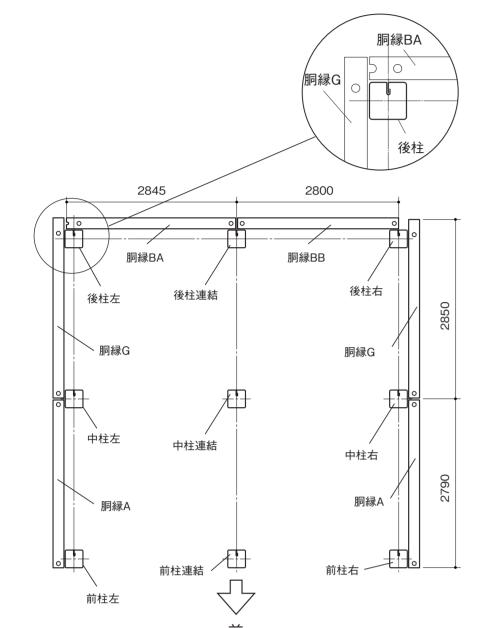


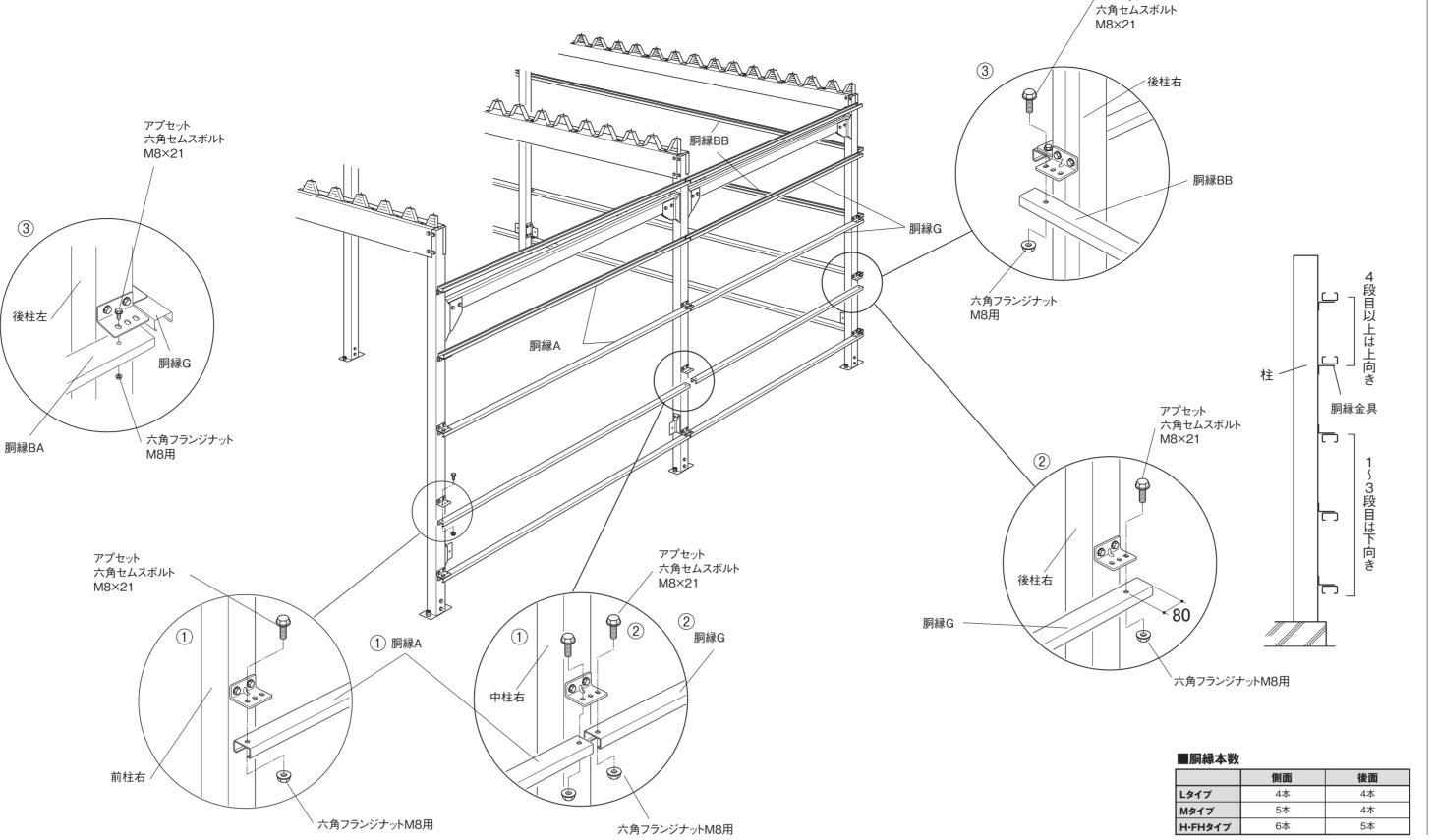




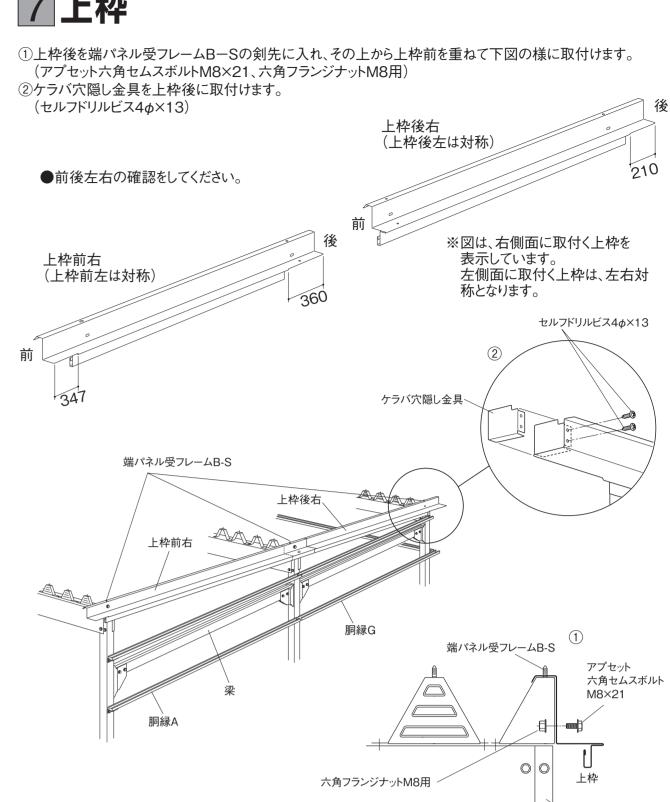
胴縁は、この時点では仮止めで固定します。 屋根をのせ、建ちを調整してから本締めします。

- ①胴縁Aを側面の前柱と中柱の胴縁金具に取り付けます。
- (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②胴縁Gを側面の中柱と後柱の胴縁金具に取り付けます。 (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ③胴縁BAを後面の胴縁金具に取り付けます。
- (連結の場合は、正面向かって左より胴縁BA-胴縁BBの順に取り付けます。)
- この時、半円の切り欠きがある方を左端にくるように取り付けます。
- (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用) ※胴縁A·G·BA·BBは、長さと孔位置が違いますので間違わないように確認してください。
- ※胴縁は、1~3段目は下向きに、4段目以上は上向きに取り付けます。









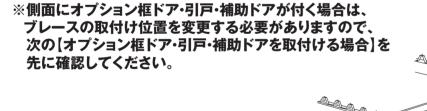
SOBU-3057型 1 -2

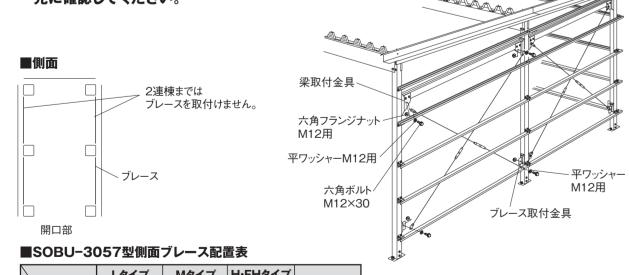
8 ブレース

※全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える 構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。

側面ブレースの取付

- ①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。
- (六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

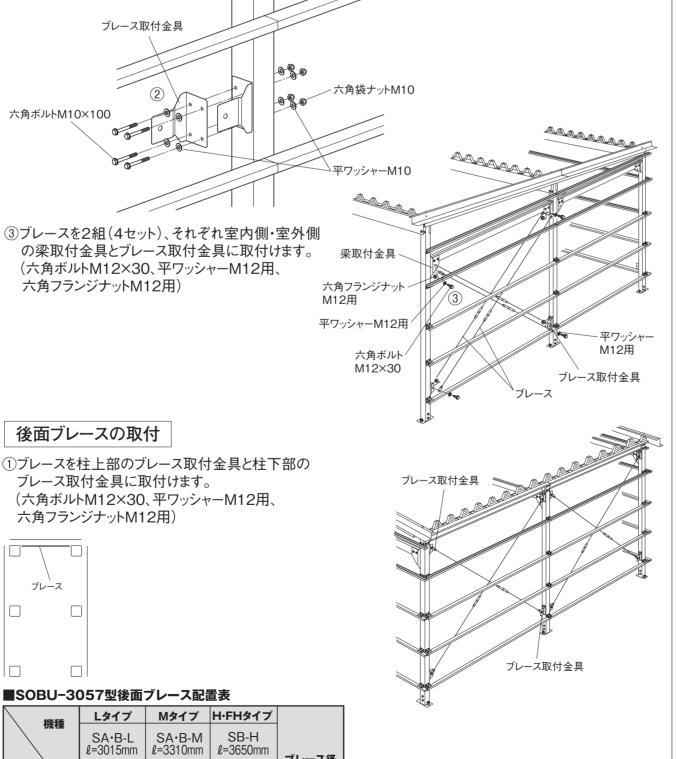




■SOBU-3								
MITT	Lタイプ		Mタイプ		H・FHタイプ			
機種	SA•B-L ℓ=3015mm		SA•B-M ℓ=3310mm		SA-H ℓ=3545mm			
	/l=1080mm		/l=1080mm		/l=1080mm		ブレース径	
	l ₂₌₁₈	.ℓ2=1845mm/		/ _{2=2140mm} /		75mm	***	
連棟数	前	後	前	後	前	後		
単棟	0	×	0	×	0	×	10.7φ	
2連棟	0	×	0	×	0	×	10.7φ	
3連棟	0	0	0	0	0	0	10.7φ	
4連棟	0	0	0	0	0	0	10.7φ	
5連棟以上	0	0	0	0	0	0	10.7φ	
○:必要 ×: ²	 下要							

オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合

- ※側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合、ブレースの取付け位置を変更します。 (後面にはオプション框ドア・引戸・補助ドアは付きません。)
- ①開口部を取付ける側のブレース取付金具を外します。
- ②外したブレース取付金具を開口部を取付けない側のブレース取付金具と一緒に向かい合わせで取付け ます。又、ブレース取付金具を外したところには、再度ボルトのみを取付け、柱の孔を隠します。 (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



Ο 10.7φ

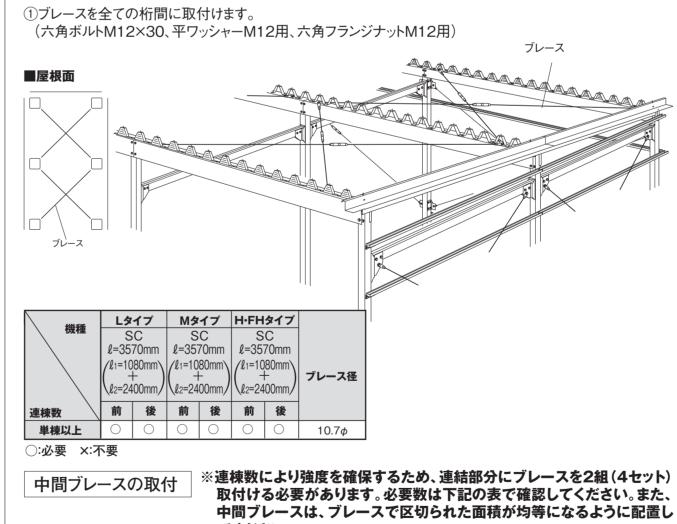
\lulet_1845mm/|\lulet_2=2140mm/|\lulet_2=2480mm/

 \circ

単棟

2連棟以上

○:必要 ×:不要



てください。

■SOBU-3057型連結部ブレース配置表

屋根ブレースの取付

-CODO COO. Extrade / / / / / / / / / / / / / / / / / / /										
****	Lタ	イプ	Мタ	イプ	H・FHタイプ					
機種		·B-L		B-M	SA-H					
		15mm	l=33		ℓ=3545mm					
	/l=1080mm		/v1=10	8UMM \	$\ell_1=1080$ mm		ブレース径			
	l2=1845mm/		\l2=21	40mm/	\langle 2375mm/					
連棟数	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所				
4連棟まで	0	0	0	0	0	0	10.7φ			
5連棟	0	0	4	1	0	0	10.7φ			
6連棟	4	1	4	1	4	1	10.7φ			
7連棟	4	1	8	2	4	1	10.7φ			
8連棟	8	2	8	2	8	2	10.7φ			
9連棟	8	2	8	2	8	2	10.7φ			
10連棟	8	2	12	3	8	2	10.7φ			
11連棟	12	3	12	3	12	3	10.7φ			
12連棟	12	3	16	4	12	3	10.7φ			

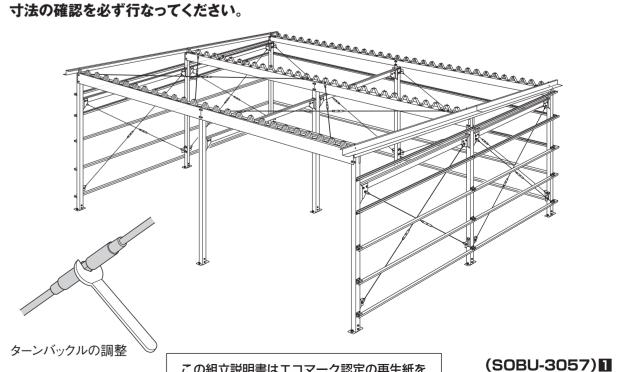
①中(前)柱連結・後(中)柱連結の足元にブレース取付金具を向かい合せで取付けます。

(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用) ②ブレースを梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。

(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用) ①② ブレース取付金具 中柱連結~

ブレースの取付確認

- ①下図の様にターンバックルで調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。
- (今後の組立に支障がでてきます。) ※屋根をのせた後も調整が必要です。
- ※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で



この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を 使用しています

部品箱の中の取扱説明書は お客様に必ずお渡しください。

SOBU-3057_NR_KS_2025A

马片倉庫

組立説明書 2

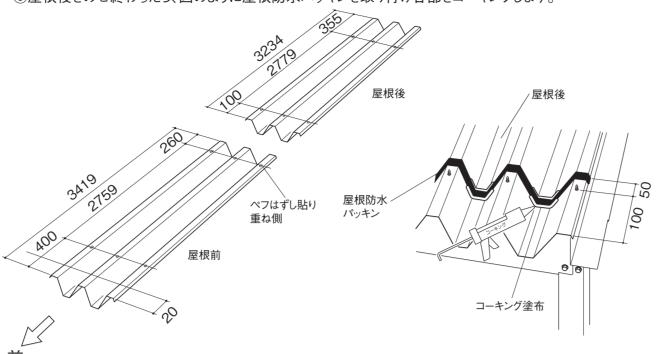
SOBU-3057型 $(L) \cdot (M) \cdot (H) \cdot (FH)$



9 屋根及びケラバ接続金具

①下図の位置に14φの孔をあけてください。

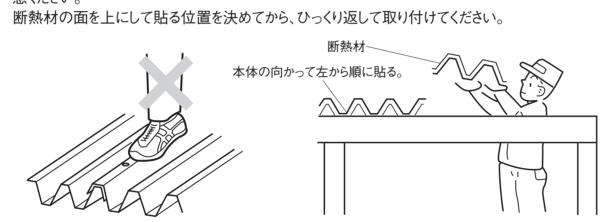
②屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。 ③屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。



▶屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、 防水パッキン、コーキングを必ず施してください。

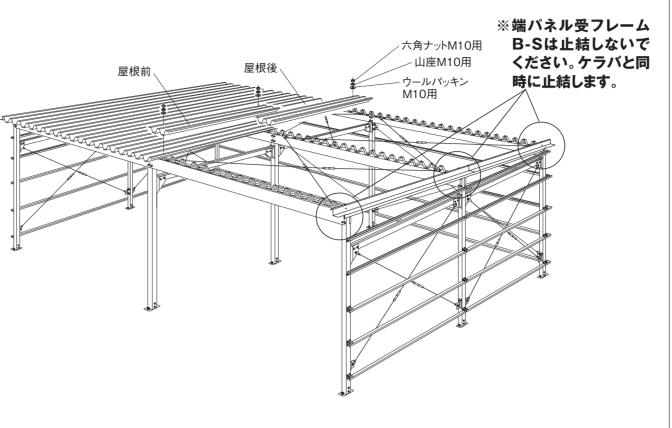
⚠ 注意

- ●屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- ●屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
- ●屋根の裏面に柔らかい断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注



④屋根前も同じようにパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。 (ウールパッキンM10用、山座M10用、六角ナットM10用)

屋根をのせたら仮締めし、ブレース等で調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。 (調整方法は⑧ブレースを参照)調整後、胴縁と屋根を本締めします。



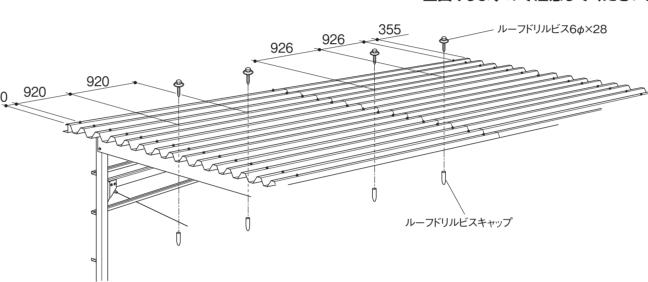
⑤屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で 2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。

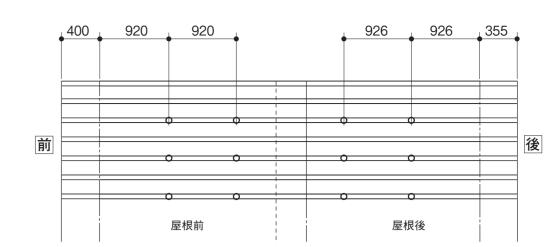
(ルーフドリルビス6φ×28、ルーフドリルビスキャップ)

③横壁を前から順に胴縁(胴縁A)の先端に合わせ取付けます。(セルフドリルビス4¢×13)

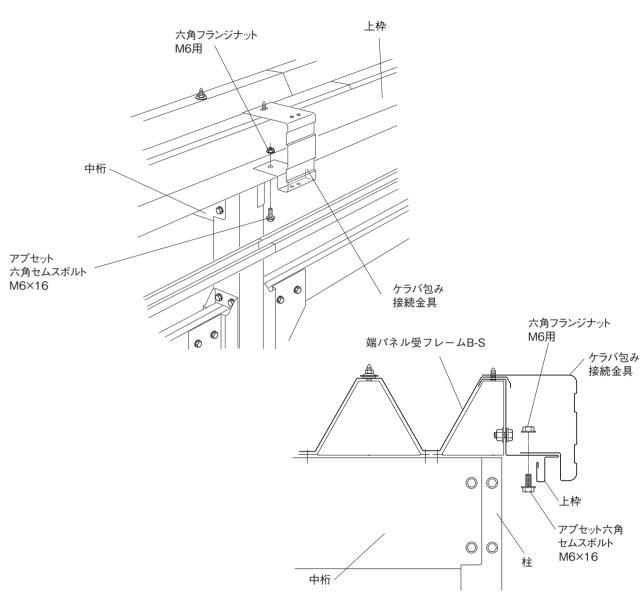
④後壁を正面向かって左側から、胴縁(胴縁BA)の先端に合わせ順に取付けます。(セルフドリルビス4¢×13)

※ルーフドリルビスは締め過ぎると 空回りしますので注意してください。





⑥ケラバ包み接続金具を中桁の端パネル受フレームB-Sの剣先ボルトに差し込み、上枠と取り付けます。 (アプセット六角セムスボルトM6×16、六角フランジナットM6用



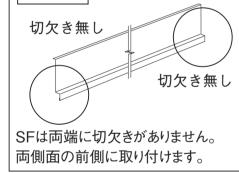
10 水切り及び壁

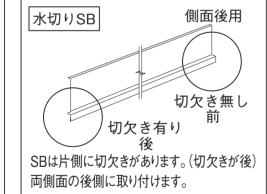
水切りSF

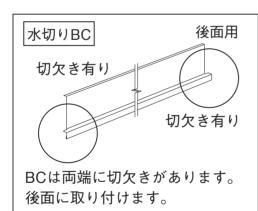
①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。

※水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。

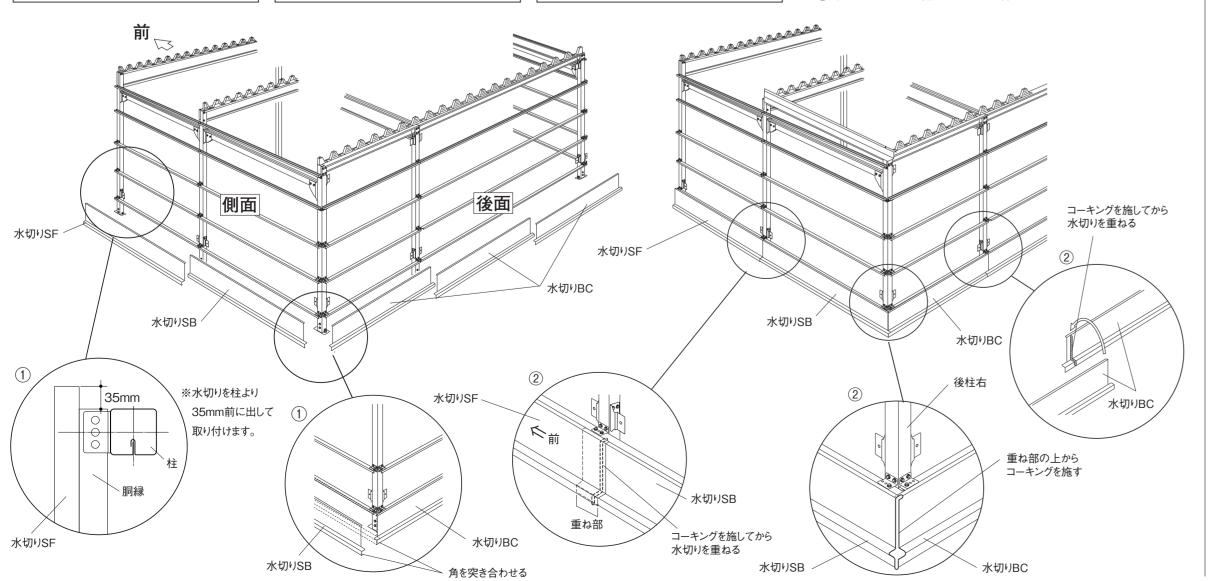
※組立説明書□・2の順で組立てください。

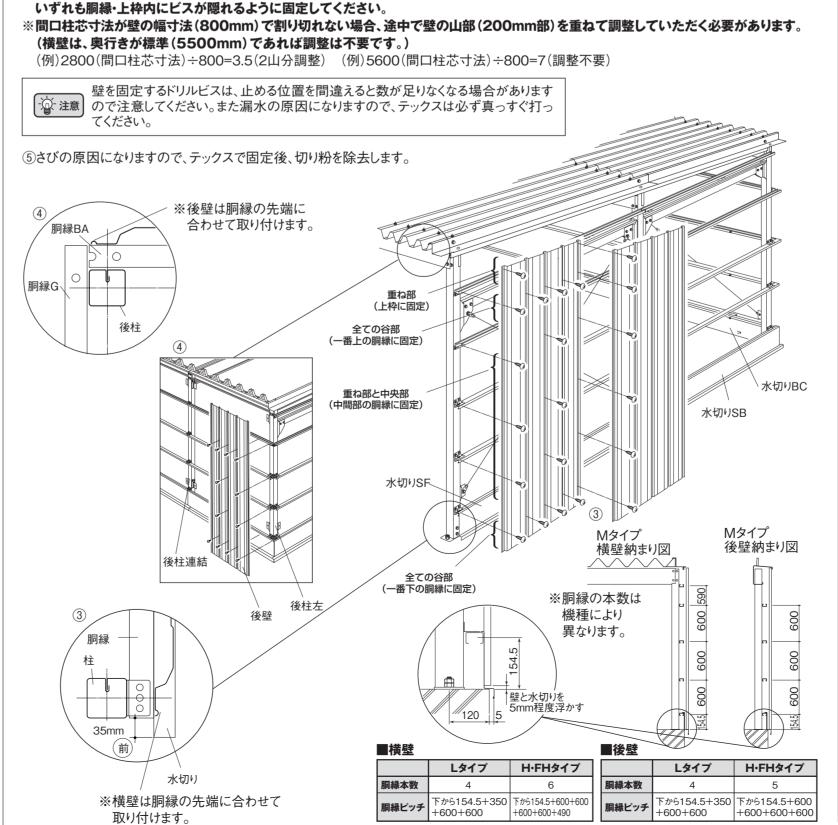








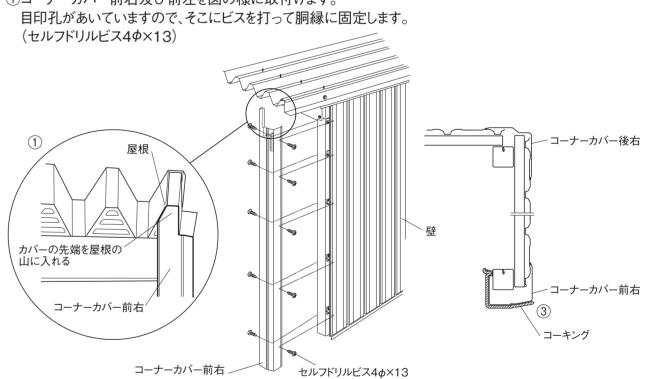




※壁のドリルビスは、上枠部は重ね部のみ、一番上と一番下の胴縁部は全ての谷、それ以外の胴縁部は重ね部と中央部のみの固定となります。

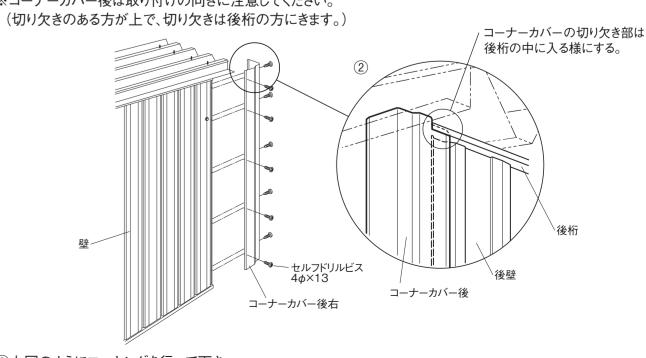
11 コーナーカバー

①コーナーカバー前右及び前左を図の様に取付けます。



②コーナーカバー後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいていますので、そこにビスを打って 固定します。(セルフドリルビス4*0*×13)

※コーナーカバー後は取り付けの向きに注意してください。

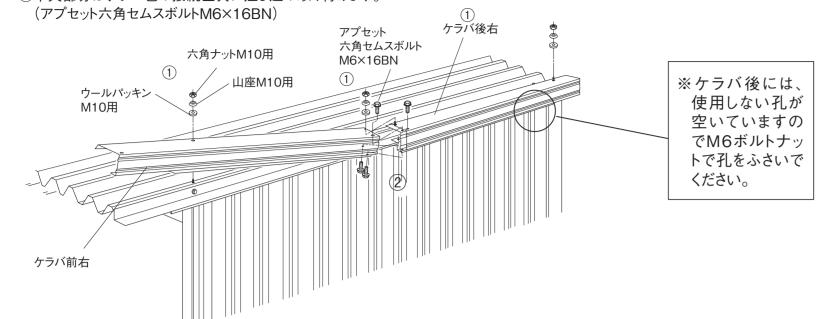


③上図のようにコーキングを行って下さい。

12 ケラバ

①ケラバ前右、後右をパネル受フレームの剣先ボルトに取り付けます。 (ウールパッキンM10用、山座M10用、六角ナットM10用)

②中央部分はケラバ包み接続金具に差し込み取り付けます。

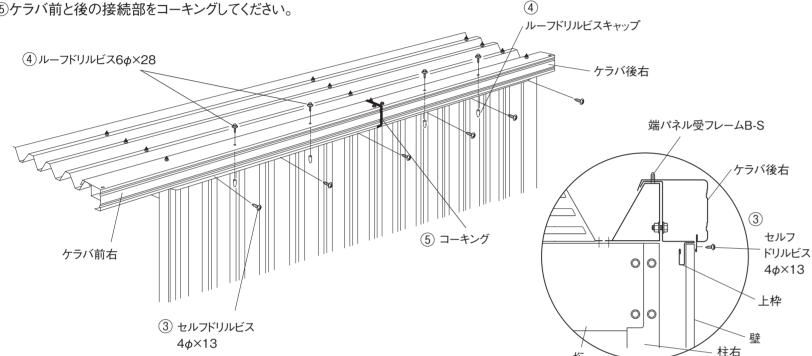


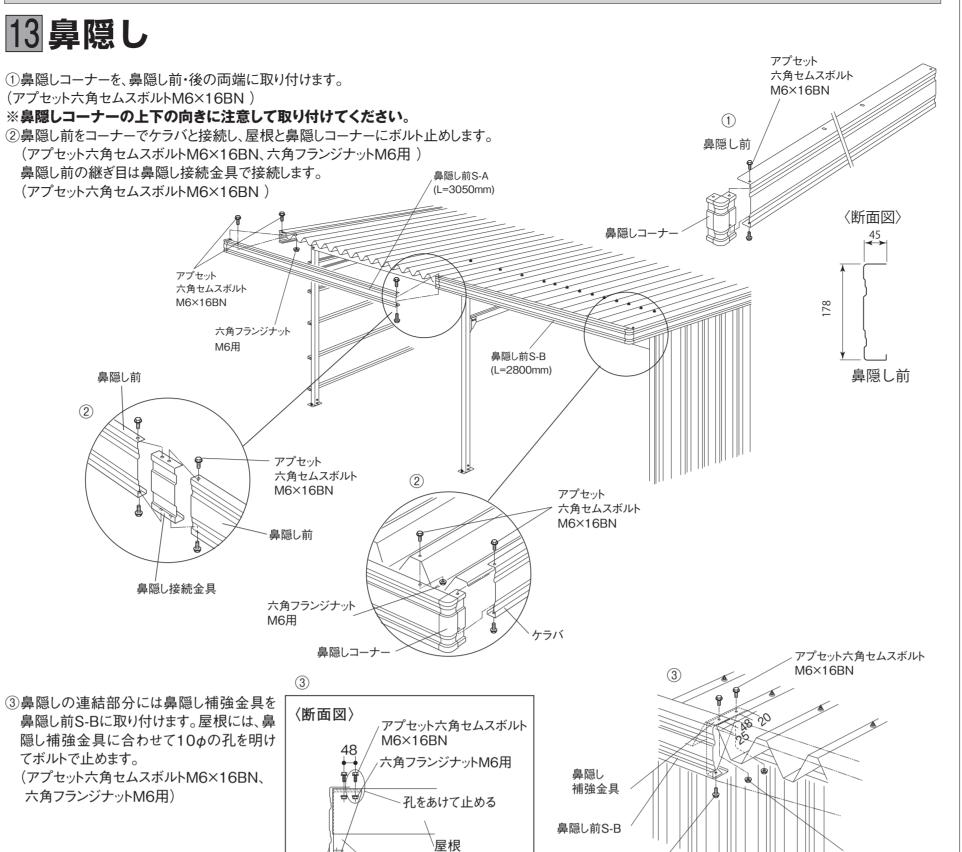
③ケラバのツブシ曲げの部分を前後各3ヶ所固定します。(セルフドリルビス4φ×13)

④屋根の重ね合わせ部と同様にケラバの中央部をパネル受フレーム間で2ヶ所ルーフドリルビスにて止結します。

止結後、室内側よりキャップをかぶせます。

 $(ルーフドリルビス6\phi\times28、ルーフドリルビスキャップ)$ ⑤ケラバ前と後の接続部をコーキングしてください。





| 鼻隠し補強金具

鼻隠し前S-B

(7)シャッターレール左右をブラケット下部に差し込み、柱に取り付けます。

14シャッター

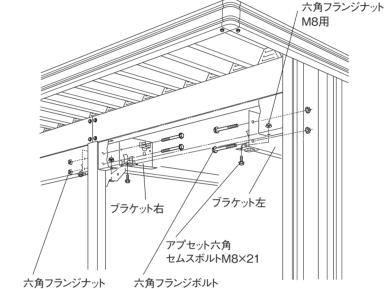
リモコンシャッターの場合も同様の手順で進めて下さい。 ただしシャッターシャフト部の配線はシャッター工事店が行いますので配線部品には触れないでください。

①前板を桁に取り付けます。 (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用) 六角フランジナット アプセット六角 セムスボルトM8×21

②シャッターブラケット左右を前柱に取り付けます。 (六角フランジボルトM8×100、六角フラン ジナットM8)

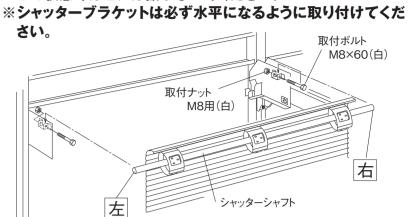
ブラケットの(右)、(左)は、内部より見た位置を表示してあります。 取付位置は下図を参照してください。

また、ブラケットと前板の下部を固定してください。 (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)



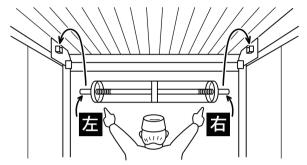
③シャフトの左右に注意して、ピンが手前に来るようにシャフトをブラ ケットに取り付けます。(取付ボルトM8×60(白)、取付ナットM8用 (白)はブラケットに仮止めしてあります。)

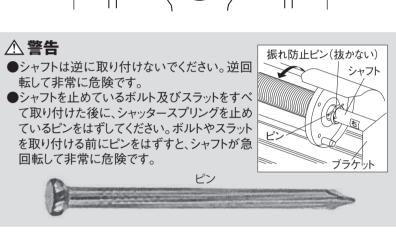
※この状態ではピンは抜かないでください。



シャフトの(右)、(左)は、内部より見た位置を表示してあります。

倉庫の部材の右・左は、外部正面から見て右・左を示しますが、シャッ ター部材のみ倉庫室内側より見て右・左となっていますので、間違え ないように取り付けてください。



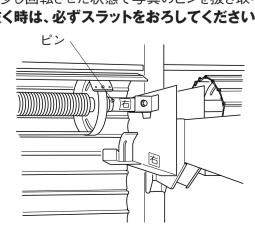


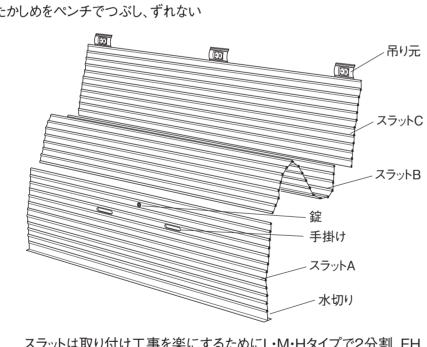
④スラットの両端のかしめの片側(差し込む方)だけをペンチやドライバーで寝かせ、平坦にします。 スラットとスラットを平行に上からC→B→Aの順に差し込み、寝かせたかしめをペンチでつぶし、ずれない

様にします。 水切り 差し込む方のかしめを

図の様に寝かせて平坦にする。

⑤シャフトを少し回転させた状態で写真のピンを抜き取ります。 ※ピンを抜く時は、必ずスラットをおろしてください。





スラットは取り付け工事を楽にするためにL・M・Hタイプで2分割、FH タイプで3分割となっています。

⑥スラットをおろし、柱とゆがみが無いか確認します。ゆがみがある場 合はブレースで再度本体の建ちを調整してください。

※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきた す場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行な ってください。

シャフトの(右)、(左)とスラットがガイドに入っているか確認してください。 尚、レール間ピッチも上下とも5mm内で施工してください。



(アプセット六角セムスボルトM8×21) この時、シャッター金具を図のように共締めします。 ※左、右各3個ずつをレールの中間部に取り付けます。 ブラケット右 / ブラケット左 ブラケット右 シャッター レール ブラケット左 △アプセット六角 セムスボルト 前柱左 シャッター金具 前柱右、 ⑧シャッターの開閉チェック及び錠チェックをしてください。 前柱連結~ ※鍵はスラットの裏にあります。 レール右 ●シャッタースプリングの若干の調整は、次のようにしてください。 ただし、大幅な調整は最寄りのヨドコウ営業所にお問い合せください。 ①ピンをかけて、スプリングを固定する。 ②ボルトをはずし、取り付け レール右 2ボルト位置を変える 位置を変える。 ♪ 必ずピンをかけて作業を行ってください ってください。 警告 ピンをはずして行うと非常に 危険です。 ❶必ずピンをかける 緩衝バネでのバネバランス調整方法(FHタイプのみ) ◆ 強く上がりすぎる場合 シャッター 2mm 以上あける アーム 上がりきらない場合 ―― 金具 ベース (緩衝バネ ベースを止めているボルトを一旦外し、 強く上がりすぎる場合はアームを左に、 上がりきらない場合はアームを右に動か アームを移動させます。ベースは90°ご

とに固定できます。

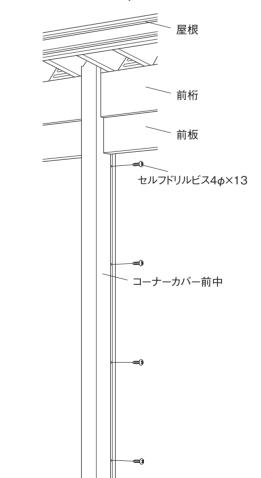
してください。

六角セムスボルト

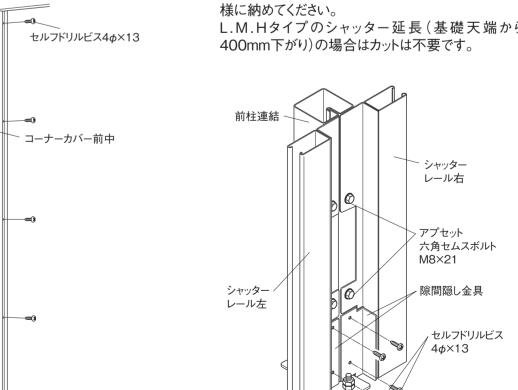
フランジナット

15コーナーカバー前中・隙間隠し金具(布基礎の場合のみ)

①連棟タイプの場合、最後に前柱連結にコーナーカバー 前中を取り付けます。 (セルフドリルビス4o×13)



② 前柱連結のレールの下部には図のように隙間隠し 金具を取付けます。 $(セルフドリルビス4<math>\phi$ ×13) 金具は長いので、カットし、切り欠きを付けて下図の 様に納めてください。 L.M.Hタイプのシャッター延長 (基礎天端から 400mm下がり)の場合はカットは不要です。



以上で完成です。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を 使用しています

部品箱の中の取扱説明書は お客様に必ずお渡しください。

